

2024年度 御殿山中学校 学校評価アンケートの結果について

年末に学校アンケートを実施したところ、生徒の回答が446名、保護者の回答が149名ありました。ご協力ありがとうございました。以下、アンケートの結果とその考察について記載いたします。それぞれの質問の回答は、肯定的な回答（そう思う・よくあてはまる・どちらかといえばそう思う・あてはまる）のパーセンテージを示しておきます。

《生徒》

①学校へ行くのが楽しい。	89.0%
②学校は居心地のよい場所である。	84.3%
③学校は、学校・学級通信、ホームページやスクリレなどで学校のことをよく知らせている。	75.8%
④学校の授業はよくわかる。	85.9%
⑤家庭学習等をする習慣が身に付いている。	56.7%
⑥配布されたタブレットを学習時に効果的に活用できている。	70.6%
⑦食事・睡眠・服装・あいさつ・決まりや時間を守る等、基本的な生活習慣が身に付いている。	87.4%
⑧健康や安全に気をつけている。	87.2%
⑨読書をする習慣が身に付いている。	58.7%
⑩命や思いやりなどについて、学級や学年で考えることがある。	75.6%
⑪自分自身のことを大切にしている。	83.9%
⑫友だちと仲良くできている。	96.9%
⑬友だちにやさしくしたり、友だちと助け合ったりしている。	94.8%
⑭先生は、生徒の気持ちをよく理解し、悩みや問題等に適切に関わってくれる。	82.7%
⑮学校の先生以外に悩みや相談を打ち明けられる大人が周りにいる。	80.7%
⑯清掃活動に真面目に取り組んでいる。	92.2%
⑰生徒会活動（委員会活動）や係の仕事を積極的に行い、また協力している。	91.5%
⑱地域の人たちと一緒に行う行事や学習は楽しい。	76.7%
⑲学校や日常生活で不安なく生活ができている。	84.8%

《保護者》

①子どもは、学校に楽しく通っている。	87.9%
②子どもは、挨拶や返事がしっかりできている。	81.9%
③子どもは、学校の授業をよく理解している。	58.4%
④子どもは、安心して学校に通えている。	89.9%
⑤子どもは、友だちと仲良くできている。	89.3%
⑥子どもは、学校のルールや規則を守って生活している。	94.0%
⑦子どもは、生徒会・委員会活動や係の仕事を自主的に行っている。	73.2%
⑧子どもは、命を大切に作る心、思いやりの心が身に付いている。	93.3%
⑨子どもは、地域の人たちと行う行事や学習に楽しんで参加している。	59.7%
⑩子どもは、家庭で学習する習慣が身に付いている。	54.4%
⑪子どもは、読書をする習慣が身に付いている。	37.6%
⑫子どもは、食事、睡眠、時間を守ること等、基本的な生活習慣がついている。	75.8%
⑬子どもは、健康や安全に気をつけて生活している。	87.2%
⑭学校は、整った学習環境づくり、生活環境づくりに努めている。	90.6%
⑮学校は、事故や災害時の対応等、安全について適切に取り組んでいる。	83.2%
⑯学校は、学校行事（オープンスクール、懇談会等を含む）で保護者と関わる機会を設けている。	93.3%

- ⑰学校は、学校だより、連絡メール、ホームページ等で積極的に学校から情報発信している。 95.3%
- ⑱学校は、保護者、地域と連携して教育活動を推進している。 77.9%
- ⑲学校は、保護者や子どもたちにとって、困ったことや悩んでいることを
相談しやすい場所であると感じている。 72.5%
- ⑳学校は、生徒一人ひとりの内面理解に努め、毅然とした中にも教育的愛情をもって
子どもたちに接している。 81.2%

《生徒》の結果を受けて

- ・ 肯定的な回答の割合が低かったのが、⑤家庭学習の習慣、⑨読書をする習慣、⑥タブレットの効果的な活用です。いずれも学習に関することですが、中学校卒業後も「自ら学ぶ」というスタイルも確立させていくことが大切で、学校の授業においても「主体的に取り組む態度」の学習内容をもっと取り入れたり、「探求的な学び」を総合的な学習や教科の学習にもっと組み込んだりしていきます。
- ・ あとはおおむね高評価ですが、単なるパーセンテージではなく、どのくらいの人数がいるかを把握したところ、1割程度の一定数、否定的な回答がありました。この人数を一人でも減らしていくことが大切な事だと思っています。減らすための取組を今後も教職員で努力していきます。
- ・ ⑫友だちと仲良く、⑬友だちと助け合って、はほとんどが肯定的回答で、子ども同士の共生はうまくいっているように思います。
- ・ また、清掃活動や委員会活動は、全体的に一所懸命取り組むことができています。子どもたちは学校生活全般においてよく頑張っていると思います。

《保護者》の結果を受けて

- ・ 中学校においても指導は続けていきますが、ご家庭においても是非ご協力いただきたい点があります。肯定的回答が低い割合の、⑪読書習慣。4月にあった3年生対象の全国学力・学習状況調査の生徒質問用紙の調査では、本校生徒の各ご家庭での蔵書数は全国平均を上回っていました。また、家庭での学習習慣は、《生徒》⑤も《保護者》⑩もあまり高くないパーセンテージでした。例えば、ゲーム、スマホ等の使用時間のルールを決める、文字に親しむようにうながす、子どもとの会話の時間を増やす、自分の考えをしっかりと伝えられるように声掛けをする、よいところを褒めるなどして自信を持たせるようにする、などいろいろな事が考えられます。この結果をもとに、ご家庭でお子さまと話をしていただくのもいいかもしれません。ご協力よろしくお願いいたします。
- ・ ⑲学校が相談しやすい場所、の肯定的回答は4分の3程度にとどまっているので、学校が相談しやすい場所となるような努力はこれからも続けていきたいと思っています。

《生徒》と《保護者》の回答が乖離している点

- ・ 子どもは学校の授業が分かる(85.9%)と言っていますが、保護者はよく理解していると答えたのは58.4%。子どもたちが分かったつもりになっているかもしれないので、分かりやすい授業づくりの「授業改善」を今後も推し進めていきます。
- ・ 生徒会活動や委員会活動は、生徒は頑張っているのに、保護者にはそれがあまり伝わっていない状況があります。保護者向けにも学校がそのような活動の宣伝やアピールが必要と感じています。
- ・ ⑰の情報発信は、保護者の皆さんのとても高いパーセンテージでありありがとうございます。これからペーパーレス化はどんどん進んでいくと思われます。今後も情報の確認をよろしくお願いいたします。